

### 【学校教育目標】

○広く豊かな心を持つ ○自ら学ぶ ○心身を鍛える

### 【目指す生徒像】

- 他者との共生の中で自分の持ち味を發揮できる生徒
- 主体性と思いやりのある生徒
- 正しい知識と判断力を身に付けた生徒
- 何度でもチャレンジできる生徒

館林市立第三中学校 学校だより

【発行者】第19代校長 橋本文明



# 全校一心

—「笑顔」「前向き」「感謝」「尊重」—

令和6年6月24日(月) vol.3

### ああ 我が第三中学校 ③

- 平成 4年 4月(1992年) プール全面改修工事完了
- 9月(1992年) コンピュータ教室設置
- 平成 7年 3月(1995年) 武道館改修工事完了
- 平成10年 3月(1998年) 受水槽(中庭)設置
- 7月(1998年) 校長室・職員室・保健室にエアコン設置

## 市中体連夏季大会の結果

本年度より春季大会がなくなり、夏季大会は6月に前倒しとなって始まりました。

6月1日(土)のサッカー・野球・ソフトテニス団体戦を皮切りに、6月22日(土)の卓球まで、3年生を中心とする熱い大会が終了しました。残すは、7月6日(土)に行われる水泳競技です。どの競技も、カー杯に自分やチームのベストを出していました。新人戦よりもグンと力がついていて、心がしびれたり感動したりしたプレー・演技・力走を三中生は随所にみせてくれました。ありがとうございます！

残念ながら県大会以上へ参加できない3年生は、部活動は引退となりますが、部活動で培った粘り強さや友情を、次のステージへ向けて發揮してもらいたいです。大変お疲れ様でした。

県大会以上に出場できる生徒は、出場がかなわなかった三中の生徒や君たちに敗れた他校の生徒のためにも、館林市代表として誇りを持ってやり切ってきてほしいと願っています。

#### 団体戦

- ◆サッカー 優勝(県大会出場)
- ◆陸上競技男子総合 優勝
- ◆陸上競技女子総合 準優勝
- ◆野球 1回戦惜敗
- ◆ソフトテニス男子団体 準優勝
- ◆ソフトテニス女子団体 4位
- ◆バスケットボール男子 4位
- ◆バスケットボール女子 準優勝
- ◆バレーボール男子 準優勝
- ◆バレーボール女子 4位
- ◆体操女子団体 3位
- ◆卓球男子団体 3位
- ◆卓球女子団体 準優勝

#### 個人戦

- ソフトテニス男子
  - ・優勝 ・4位 (ともに県大会出場)
- 陸上競技(3位まで) (県)は県大会出場
  - <男子>
    - ・2年100m走 1位(県)、3位
    - ・3年100m走 2位(県)、3位
    - ・共通800m走 1位(県)
    - ・共通1500m走 1位(県)
    - ・共通走高跳 2位(県)
    - ・共通走幅跳 1位(県)、2位(県)
    - ・共通砲丸投 2位(県)、3位
    - ・4×100mR 1位(県)
  - <女子>
    - ・1年100m走 3位
    - ・3年100m走 2位(県)
    - ・共通200m走 2位(県)
    - ・共通走高跳 1位(県)、2位(県)
    - ・共通走幅跳 1位(県)
    - ・共通砲丸投 3位
    - ・4×100mR 2位(県)

- 体操女子
  - ・個人総合 3位、5位(ともに県)
  - ・跳馬 2位
  - ・床 3位
  - ・個人総合 県大会出場1名
- 卓球男子
  - ・準優勝(県)
- 卓球女子
  - ・準優勝、3位(ともに県)



壮行会の終わりに全生徒で円陣を組んでいざ出陣！



なお、吹奏楽部は7月23日に東部地区吹奏楽コンクールがあります。



三中 HP へはこちらからどうぞ

### 校内少年の主張

5月31日(金)

「生徒が日常生活を通じて感じていることや考えていることを、発表したり聞いたりしあうことを通して、自らの家庭生活や学校生活を振り返らせ、正しい社会観や自立心を育てると共に、よりよい生き方を考えさせていくための契機とする」ことを目的として、毎年開催しています。

国語の時間に全校生徒が自己の主張を文章化し、学年で発表会を行い学年代表を2名選出、その後計6名で本会を行います。



- 1年生 『みんなの笑顔』 男子
- 『ランドセルに思いをこめて』 男子
- 2年生 『努力をすることの大切さ』 女子
- 『ドラえものの道具があつたらな…』 女子
- 3年生 『心を「豊か」にする優しい好循環』 女子
- 『個性を大切に』 男子

※敬称略

審査員の校長・教頭・学年主任・国語科担当教員で審査した結果、学校代表として3年生の二人が選ばれました。二人は6月29日(土)13時30分<日清製粉ウェルナ三の丸芸術ホール>にて、館林市少年の主張大会に出場します。

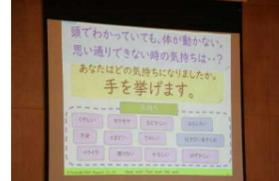
### 味方になりきるコミュニケーション講座

—みんながゲートキーパープロジェクト— 6月10日(月)

NPO日本ゲートキーパー協会より講師の先生をお招きして、各学年1時間ずつ標記研修を行いました。

本時の目標は『気持ちが落ち込んでしまっている友達に、どのように声をかけるか?』。講義あり、エクササイズあり、話し合いありの実習を伴う研修でした。生徒たちも楽しく真剣に学んでいました。

※「ゲートキーパー」とは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る)を図ることができる人のことで、言わば「命の門番」とも位置付けられる人のことです。



### 2年生福祉体験へ

6月13日(木)

2年生1学期の総合的な学習の時間のテーマは『福祉』。そこで、「福祉ボランティアの体験」「自主的に行動できる力の育成」「思いやりや協調性、公衆道徳を学ぶ」の3つを目的に、各学級で5名程度に班分けし、館林市障がい者総合支援センター、西公民館、館林市総合福祉センターに、手話・車椅子・お年寄りとの交流・作業等の体験をしてきました。

一体験は百知識に勝ります。コロナ禍で休止してしまった体験活動を積極的に授業に採り入れ、主体的・対話的で深い学びを目指していきます。



### 3年生子房摘みボランティア

6月7日(金)

「館林市の名勝である「つつじが岡公園」を訪れ、子房摘みボランティア活動を通して、より美しいつつじを咲かせるための過程を学ぶ。また、活動することで郷土愛を感じ、つつじが岡公園の歴史や成り立ちを学習する」ことを目的として活動に行ってきました。館林市つつじのまち観光課より、本ボランティアの案内を受けたことがきっかけです。

給食後、一生懸命にペダルを踏み14時前に到着。担当者からの説明を聞き、約90分間行いました。最初は「どれが子房？」と困惑していた生徒たちも、だんだんと慣れていくと何年も経験しているかのように手際よく摘んでいました。



### 1年生栄養士学校訪問

5月30日(木)

館林市学校給食センターより2人の栄養士さんをお迎えして、1年生を対象とした栄養指導が行われました。この事業は、毎年全学級各1回小学1年生から中学3年生まで行われています。今回のテーマは「朝食」でした。食べながらでしたが、目と耳は栄養士さんのプレゼンに向け、よく聴けていました。

